

「保育」という おしごと

— 保育者からのメッセージ —



“共感”から得られる “安心感”が
子どもたちを成長させます

小さなことでも子どもたちが成長する姿を感じた時に、保育の仕事をしていて良かったと心から思います。大人にとっては何気ないことでも、子どもたちにとっては新鮮でキラキラと輝いていること。そのことを意識し、これからも一人ひとりの気持ちに寄り添いながら、共に笑ったり感動したり、悲しんだりして、「共感」を大切にできる保育者であり続けたいと思います。

須和間幼稚園

松下純教諭

保育の仕事に就いて8年——。仕事をする中で大切だと感じることはたくさんありますが、その一つに「共感」があります。自分が言ったことや感じたことを共感してくれる人がいると、大人でもうれしくなります。自分の話をうなずきながら聞いてくれたり、「一緒だよ」「そっだよ」と言われたりすると、安心することができません。そんな安心感を子どもたちにも持つてほしいと思い、「共感」という言葉を大切にしながら保育をしています。

ある時、友達が遊んでいる姿をじつと見ていた子がいました。その子は自分の気持ちを言葉にするのが苦手

だったので、「一緒にやってみようね。先生と一緒に“入れて”ってやってみようか」と誘いました。私にとっては何気ない一言でしたが、その子は笑顔でうなずき、友達遊びに入ることができました。そして、このことがきっかけで「先生、あれやってみたいよ」「一緒に遊ぼう」と自分の思いを伝えてくれるようになったのです。子どもの気持ちに気づき、共感することの大切さや、何気ない一言が子どもの心を動かすことを感じた瞬間になりました。

“共感”は安心へ 安心は挑戦へ 挑戦は自信へ。子どもたちのこうした姿を目の当たりにしているからこそ、共感することの大切さを実感できます。また、小

村内等で行われた活動やイベントを紹介します **ず〜むあっぷ「まちの風景」**

【写真左から】加藤啓子さん(副会長)、石丸美代子さん(会長)、山田村長、佐藤佳代子さん(前会長)、小泉奈知子さん(副会長)



生 生きる上での基本の「食」を大切に
第4回「食育活動表彰」で「消費・安全局長賞」を受賞

7月10日、第4回「食育活動表彰」でボランティア部門「消費・安全局長賞」を受賞した東海村食生活改善推進員連絡協議会の皆さんが村長へ報告に訪れました。これは農林水産省が主催し、食育活動において優れた活動を行う団体等に贈られるもの。同会の親子の食育教室(ヘルスメイトジュニア事業)などが子どもたちの積極的参加とやる気アップにつながっていると評価され、今回の受賞に至りました。「これからも食育活動を通して、多くの方に笑顔をお届けしていきたい」と話していました。

村 からのお知らせを多くの方へ届けるために
7月15日から配信開始!「東海村公式LINE」

村では、村からのお知らせをより身近に感じてもらうために、村公式LINEアカウントを開設し、情報配信を開始しました。村公式LINEでは、行政情報をはじめ、イベント情報や防災・災害などの緊急情報をお届けします。運用開始から現在までに、約2400人(7月29日時点)の方に「友だち登録」をいただいています。上記のQRコードから友だち登録ができますので、お手持ちのスマートフォン等でぜひ登録ください。